



2022

年度を選択

特別賞を選択

[詳細検索を表示](#)

GOOD DESIGN AWARD | グッドデザイン賞



ツイート

いいね!

受賞対象名	スキンケアコスメ [haus ヒノキオールインワンナチュラルスキンジエル]
事業主体名	株式会社トレードレーベル
分類	衛生用品
受賞企業	<u>株式会社トレードレーベル (宮崎県)</u> 宮木健二 (兵庫県)
受賞番号	22G020109
受賞概要	<u>2022年度グッドデザイン賞受賞概要</u>

受賞対象の概要 ※掲載している情報は、受賞当時の情報のため、現在は異なる場合があります。

概要 古来より法隆寺等の木造建築や歴史文化を支えてきた日本を代表する樹種「桧」。その油分にはアロマ効果や鎮静、抗菌、抗炎症、肌の柔軟化作用が認められる。コロナによる生活・仕事環境の劇的な変化で多くの人が抱える様々な肌トラブルやストレスの改善、他者と環境への思いやりを目的に、自然由来成分と癒しの香りを融合させたスキンケア製品。

デザインのポイント 1.シンプルな立体とグラフィックで伝える清潔ナチュラルな世界観。日本の感性価値にじっくりなじむ白銀比で 2.端材もろくろ挽きでキャップに。開閉時に直接桧の材質に触れ木の優しさとぬくもりを感じてもらう機会を創出 3.キャップ曲面の矩形彫の帯は視認性を高め歴史の連続を表現。一つずつ低速回転とレーザー調整で丁寧な仕上げ

プロデューサー 宮木健二

ディレクター 宮木健二

デザイナー 宮木健二



詳細情報 <https://haus.style/gel/>

発売 2022年3月1日

価格 7,040円

販売地域 国内・海外共通仕様

受賞対象の詳細

背景 桧油はアロマや消臭が一般用途だが、成木1本からわずかコップ1杯の希少性と天然であるがゆえに、多種の成分と配合するには純度や安定性の問題もあり新たな汎用性やイノベーション獲得に至っていなかった。ここで、桧油の「皮膚を柔らかくし角質層までの水分浸透を助ける」機能に着目。長年桧専門製材業で培った知見とともに循環型社会形成への意識から「廃棄部材からの高純度精油」を目標に公設試験場と共同で水蒸気蒸留法研究を繰り返し、配合に適した安定的精製工程を確立した。 また①リモートワークやおうち時間など労働・生活環境の激変、閉塞社会へのストレスや不安の高まりによる皮膚疾患拡大 ②日常的な癒しと手間いらずのセルフケア・ブチ贅沢品の需要向上 ③環境保護と多様性やジェンダーレス社会の認知など、昨今の社会背景や市場動向を踏まえ「世界初、桧香の贅沢スキンケア成分調整の男女兼用オールインワンジェルとデザイン開発」に挑んだ。

経緯とその成果 コアユーザーはオーガニックな生活雑貨等に感性が高くナチュラルなライフスタイルを好む層と仮説。また、桧風呂を想起させる桧油の癒しの芳香や子供から高齢者まで安心して使える内容から、老若男女を問わずおすすめできるシンプルデザインを企画。本物の桧材キャップ、表情あるマットなバガス系純白化粧箱、桧イラストのエンボス加工等、視覚・嗅覚・触覚に多面的にアプローチし記憶に残るよう工夫。 本体やリーフレットの形状・構成には「白銀比（大和比）」を多用。①古くから木材を無駄なく大切に活用する目的で、神社仏閣を始め建築現場で用いられた日本独自の美しい比率であること ②桧が日本の丁寧なもののづくりや自然の恵みへの感謝など誠実な精神性に適合してきたこと、これらの親和性・ストーリーの観点から同比を積極的に援用。製品使用資材は全てリサイクル可能なものとし、人と歴史の歩み、自然環境への配慮、地域資源活用をデザインに実現した。

仕様 本体：水,ペンチレングリコール,ヒノキ油(九州延岡産高純度ヒノキオイル),ヒアルロン酸Na,セラミド (EOP,NG,NP,AG,AP),水溶性プロテオグリカン,プラセンタエキス,ハトムギ種子エキス,ハマメリス葉エキス,ソメイヨシノ葉エキス,アロエベラ葉エキス,ヒト幹細胞順化培養液他 容量：150mL 寸法：H190,φ 42mm 重量：250g パッケージ：国産桧端材, PET, 紙

どこで購入できるか、
どこで見られるか

明日見世 大丸松坂屋東京店, newme 新宿マルイ/有楽町マルイ/なんばマルイ/福岡天神 各店
[haus webstore \(haus 公式ウェブストア\)](#)
[明日見世ASUMISE 大丸松坂屋](#)
[newme ECショップ](#)

審査委員の評価

ヒノキにこだわったコスメティック製品だから、キャップをヒノキにする。このシンプルな考え方が効果的なデザインへと繋がっている。量産のプロセスが難しい中で、このキャップの制作に障害者福祉施設の力を借りているところもさらなるエシカルなストーリーに繋がっており、いい考え方だった。1商品のみでブランドを成立させるケースは少ないため、おそらくこの製品の先に同じデザイン言語によるさらなる商品展開を考えていることだろう。これからの発展が楽しみだ。

担当審査委員 | [秋山 かおり](#) [鈴木 啓太](#) [太刀川 英輔](#) [辰野 しずか](#)



This Work by JDP is licensed under a [Creative Commons Attribution-NoDerivs 2.1 Japan License](#).
Permissions beyond the scope of this license may be available at www.g-mark.org.
このページに掲載している情報は「クリエイティブ・コモンズ」＜表示・改変禁止＞日版ライセンス2.1で公開されています。
このページの情報を二次利用する際には必ず[こちら](#)をご覧ください。

グッドデザイン賞は公益財団法人日本デザイン振興会が運営しています。

[サイト利用条件](#) [プライバシーポリシー](#) [クリエイティブ・コモンズについて](#) [お問い合わせ](#)

